「東風(こち)」図書館だより
平成２８年(２０１６)年度　第三号
福岡県立嘉穂東高等学校
図書専門委員会発行

お薦めの本紹介

今回は１学年の先生方におススメの本を教えていただきました。

みなさんの読書の参考にしてください！



高尾先生

四人はなぜ死んだのか　三好万季

祖父をすい臓がんで亡くし、その後インターネットで医学文献等を検索する事で将来性のあるすい臓がん検査方法を１５歳で発明したジャック・アンドレイカを知っていますか？日本にも昔、インターネットを駆使し驚くべき推理をした１５歳の少女がいました。名前は「三好万季」。彼女が興味を持ったのは「和歌山毒入りカレー事件」。１９９８年中学３年次の理科の宿題で調べ始めたのが、この本を出版するきっかけでした。

かもめのジョナサン　Richard Bach

中学生の時にこの本を読みました、と言うよりは読ませられました。タイトルが変わっていて面白そうだと感じたことと、実際に読み始めると主人公のジョナサンに感情移入していたこと今でも覚えています。他のかもめからバカにされながらも飛ぶことの歓びを追求した一羽のかもめの物語。ついに仲間から追放されますが…
先日本屋でぶらぶらしていると目に飛び込んできたのが「かもめもジョナサン(完全版)」。40 年ぶりに続編が出たことを知り購入しました。

LEAN ON ME　Deborah Chiel

私が追い求める理想の教師像が二つあります。二人とも実在したアメリカの教師です。この二人は全く違うタイプの教師ですが、共通点が一つ。それは‘passion‘ (情熱) です。今回紹介する教師は　‘Crazy Joe‘　というあだ名がついている厳格な教師の方で、荒れ果てたニュージャージー州にある　Eastside 高校を蘇らせた実話です。どのように他の教師を鼓舞し、どのように生徒の相談にのり、成績をあげたか。多くの秘密がこの話の中にあります。DVD も出ていますので、内容を理解した上で英語のペーパーバックに挑戦する事をお薦めします。

中島先生

赤毛のアンのおしゃべり英語レッスン　島本　薫

大自然に囲まれたカナダのプリンスエドワード島に住む、想像力豊かな赤毛の女の子 Anne。Anne のおしゃべりをもとに色々な英語表現を学ぶことが出来る一冊です。Anne の Unique な発言を楽しみながら、新しい英語表現を自分のものにしていこう♪プリンスエドワード島の写真に心も癒されますよ。

野口先生・佐藤先生

塩狩峠　三浦　綾子

野口先生

北海道で起きた鉄道事故をもとにした小説です。主人公が自らを犠牲に列車の暴走を止める部分が有名だそうですが、私は話の途中に見えるとても温かい人間模様がとても好きです。約束を守る事はこんなにもすごいことかと。

実は、生徒から教えてもらった小説ですが、今回は私から皆さんにお薦めします。

佐藤先生

この小説は、実際に北海道の塩狩峠で起こった出来事がもとになっています。鉄道員の長野政雄さんがたった一人で、機関車との連結器が外れ、逆走し暴走した客車を止め、全乗客の命を救ったという話を、作者が聞き、深く感動して書いたものです。愛する人との結婚が決まり、幸せの絶頂にある主人公が列車を止めるために選んだ道とは……。自分の信じるもののために生きることの尊さを教えてくれる本です。

原田先生

ローマ人の物語　塩野　七生

古代ローマ全史を描いた作品。単行本で全 15 巻、文庫本で全 43 巻になる大作。読破するのに (というよりむしろ買い揃えるのに) 3 年以上かかりました。世界史が好きなので、読みだしたら止まらなくなりました。高校生にはまだ少し難しいかもしれないけれど、一度手を出してみてください。

中嶋先生

真田騒動記　–恩田木工–　池波　正太郎

信州松代藩––五代目・真田信安のもと、政治の実権を握り放縦な生活に走った源八郎五郎を倒し、窮乏の極にある藩の財政改革に尽力した恩田木工を描く表題作。関ケ原の戦い以来、父昌幸、弟幸村と敵対する宿命を担った真田信幸の生き方を探る「信濃大名記」。他にも、直木賞受賞作「錯乱」など、大河小説「真田大名記」の先駆を成し、著者の小説世界の本質を示す　‘真田もの‘　5 編を収録。

特に「錯乱」では、松代藩の取り潰し (のっとり) を画策する幕府と真田信幸の頭脳戦が興味深く描かれており、戦国時代ではない時代の大名の戦いに感心させられました。

原先生

ナミヤ雑貨店の奇蹟　　東野　圭吾

悪事をはたらいた３人が逃げ込んだ古い家。そこはかつて悩み相談を請け負っていた雑貨店だった。廃業しているはずの店内に、突然シャッターの郵便口から悩み相談の手紙が落ちてきて…。

東野圭吾さんの作品としては珍しく、ファンタジーなお話です。感動する場面もあり、驚く場面もあり、「全ては繋がっている」感じがとても面白いです。秋に映画も公開予定です。

山田先生

HAPPINESS IS…　幸せに感じる 500 のこと　　リサ・スウェーリング＆ラルフ・レザー

幸せはいつも近くにあります。居心地の良い場所にいるとき、バカをやれる仲間といるとき、行列が出来る前に並べたとき、夏休み、部活動……。何気ない日常の中に幸せがあることに気づかせてくれる本です。

星野先生

自信と劣等感の心理学　　加藤　諦三

読んでいて、納得する内容の多い本です。人の「心理」は不思議で、奥深いものです。人の「心と行動」を理解することで、必ず役に立つことがあると思います。

村田先生

そして誰もいなくなった　　アガサ・クリスティー

アガサ・クリスティーの作品は全て好きです。彼女の頭の良さに敬服しています。中でもこの作品がやはり好き。毎回、同じ本をおススメしていますが、理由は、これを超える作品に未だ出会わないから。映画ではなく、原作を読むことをおススメします。自身もミステリアスなアガサ・クリスティー。ポワロ・シリーズやミス・マープルシリーズもとてもおススメ。ミステリー好きは必読です。

元図書委員長　　籾井先輩

氷菓シリーズ　　米澤　穂信

ぜひ高校卒業までに読んで欲しい作品です。行事や部活動などを題材にして、学生ならではの人間関係が描かれていて、青春について考えて欲しい作品です。少し前に続編も出ているので、今が読み時です。

皆さんが自分に合った青春を探し出し、高校生活が楽しいものになることを願っています。

元図書副委員長　田上先輩

神去なあなあ日常　　三浦　しをん

この本は私が入学する時の課題図書だった本です。夏休み最終日に慌てて課題に取り組むタイプの私は、この本も半ば焦りながら読み始めたのですが、とても面白かったです。主人公の平野勇気は、高校卒業後フリーターになると決め込んでいましたが、先生と親に騙されて携帯の電波も届かないような神去村へ。林業の過酷さに戸惑いつつも、自由奔放な村人達に何とか馴染もうとする主人公の姿に、人間どんな状況に陥っても、意外とどうにかなるものだなぁ、と元気づけられました。読み進めていくと面白くてつい笑みがこぼれてしまう部分が沢山あります。とても楽しく読むことが出来るので、ぜひ読んで欲しい一冊です。

◆平成 28 年度　図書館の統計◆　（集計期間　平成 28 年４月～平成 29 年２月）

★クラス別貸出統計

クラス	貸出冊数	クラス	貸出冊数	クラス	貸出冊数
１－１	１５冊	２－１	２１４冊	３－１	１８１冊
１－２	１７８冊	２－２	５２冊	３－２	１２２冊
１－３	１９２冊	２－３	４６冊	３－３	１１８冊
１－４	１１１冊	２－４	８０冊	３－４	１４６冊
１－５	１２冊	２－５	２５５冊	３－５	１８２冊
１－６	２９８冊	２－６	９冊	３－６	３５冊
１年生合計	８０６冊	２年生合計	６５６冊	３年生合計	７８４冊

★年間貸出ベストランキング

１位　『小説君の名は。』　新海　誠　KADOKAWA

２位　『コンビニ人間』　村田沙耶香　文藝春秋

３位　『君の膵臓をたべたい』　住野　よる　双葉社

４位　『また、同じ夢を見ていた』　住野　よる　双葉社

５位　『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』　七月　隆文　宝島社

★３年間の合計　２，２４６冊　です！

今回の図書館だより「東風」の制作は、１年生の図書委員が担当しました。